

|            |                                 |            |     |                 |
|------------|---------------------------------|------------|-----|-----------------|
| <b>2-1</b> |                                 |            |     |                 |
| 主題         | 入浴室内の模様替えによるリラックス空間の提供とその効果について |            |     |                 |
| 副題         | 入浴室内の模様替えがもたらす利用者満足度の向上         |            |     |                 |
| キーワード<br>1 | リラックス空間                         | キーワード<br>2 | 楽しみ | 研究(実践)期間<br>3か月 |

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 法人名・事業所名  | 社福) あそか会 特別養護老人ホーム江東ホーム           |
| 発表者(職種)   | 谷口孝(介護職員)                         |
| 共同研究(実践)者 | 米田恵子(介護職員)、野口友加利(介護職員)、小川朋弥(介護職員) |

|     |              |       |              |
|-----|--------------|-------|--------------|
| 電 話 | 03-3647-5081 | F A X | 03-3647-5407 |
|-----|--------------|-------|--------------|

|       |   |
|-------|---|
| 事業所紹介 | 江東区の「社会福祉法人あそか会特別養護老人ホーム江東ホーム」は昨年開設30周年を迎えた従来型の施設です。(入所100名、ショート17名) 汐浜運河の水辺に面した緑豊かな場所にあり、閑静で落ち着いた環境のもとで、ご利用者主体の満足度の高い温かいサービスの提供を目指しています。 |
|-------|---|

|   |
|---|
| <p><b>《1. 研究(実践)前の状況と課題》</b></p> <p>開設から30年、施設の老朽化が進んでいる。特に入浴サービスは、自力浴槽、リフト浴槽、機械浴槽が1箇所に集結されているため、職員の業務の流れは集団ケアが励行されていた。更に、昨年度の第三者評価においては、「入浴室(脱衣所)が殺風景」「女性の利用者が多い割には身だしなみを整えるスペースがない」「入浴の順番を待っている時はどうしているのか」と指摘があり、ご利用者目線の快適性への配慮が大きく欠けていた事を痛感した。老朽化した条件下を踏まえ、ご利用者の楽しみである入浴のひと時をどのように設定するべきか取り組み課題とすることとした。</p> <p><b>《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》</b></p> <p>ご利用者の8割近くが女性であることに加え、おしゃれを楽しむご利用者が複数名おられること、入浴脱衣所は老朽化しているもののスペースは広く、レイアウトの変更や壁面の活用により雰囲気を変えやすい環境にあることから、身近にある道具の活用を主体に女性目線で身だしなみを整える空間を創ること、入浴の待ち時間を少しでも気分が和らぐ場所にする事を目的とし脱衣所内の模様替えを手掛けていくこととした。</p> <p><b>《3. 具体的な取り組みの内容》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：リフト浴で入浴されるご利用者 22名(車いすのご利用者)</li> <li>・実施期間：平成30年4月～6月(現在も継続中)回数：週2回(水曜、土曜)</li> <li>・具体的手法：             <ul style="list-style-type: none"> <li>①装飾を施したドレッサー(鏡)を入浴室内のスタンドに設置</li> <li>②貼り絵(ご利用者が作成した海と船を表現したもの)・簾や造花を施した装飾</li> <li>③テレビモニターとDVDデッキの設置(壁面の空いたスペース)</li> <li>④ボトルアクアリウム(施設で飼っている観賞魚を小分けにした)をドレッサーのところに設置</li> </ul> </li> </ul> |
|---|

- ・予算：約7,000円（①のドレッサーと③のテレビモニターの取り付け金具代）

基本的には施設の備品を使用。

- ・取組み手順：入浴の待ち時間にテレビモニターから流れる、歌番組や映画（動物もの等）を視聴して頂く → 着脱後に入浴 → 入浴後に着衣を行った後に、ドレッサー前にてドライヤーで髪を乾かし（職員対応）、ご利用者自身で容姿を確認しながら髪をとかして頂く。

※ボトルアクアリウム、貼り絵等は雰囲気を楽しんで頂く。

一定期間実施後、ご利用者にアンケート及び職員聞き取り調査を実施。

- ① ドレッサーについてはご利用者10名より「良かった」との返答が得られた。
- ② 貼り絵については9名のご利用者から「良かった」との返答が得られた。
- ③ テレビモニター（DVD）については11名のご利用者より返答が得られ、少数意見では「動物」「テレビは好き」等の具体的な反応が見られた。
- ④ ドレッサーのところに設置したボトルアクアリウムについては1名のご利用者より「魚の名前を知りたい」との要望も聞かれた。

#### 《4. 取り組みの結果》

上記の結果から、リフト浴で入浴されている約5割のご利用者の方から、好意的な印象を持って頂けていることが判明した。

また、職員に対する聞き取り調査も、「以前に比べて明るい雰囲気になった」「装飾等があることで、ご利用者との会話のきっかけになることが増えた」等の意見が聞かれ、入浴前後のちょっとした時間を楽しみひと時にするきっかけが出来ていることがわかった。

#### 《5. 考察、まとめ》

対象ご利用者の約5割に、以前より快適な環境であると好意的印象を持って頂けていることが判明した。装飾等を観るにより「待つ」時間帯に気分を和らげる効果が得られたことになる。また、鏡に向かい自分自身で身だしなみを整えることは、「見られる・見せる」という心理的な自立に結びつき、ご利用者相互の関係を維持していくために大切な動作の機会を増やすことが出来たとも言える。一方、職員も「各アイテムがご利用者と話題になりコミュニケーションがより良好に図れるようになった」等、環境面のちょっとした工夫でご利用者主体のケアに結びつけることが出来ることを学んだ。

#### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

#### 《7. 参考文献》

映像が人の感性に及ぼす影響 <http://hdl.handle.net/2241/00122633>、報告番号 12102甲第6988号 金多賢（筑波大学）（2018年6月14日閲覧）

ペットが及ぼす心理的效果 [ci.nii.ac.jp/naid/40006267410](http://ci.nii.ac.jp/naid/40006267410)

金子智栄子 村上綾美（文教学院大学）（2018年6月14日閲覧）

#### 《8. 提案と発信》

ご利用者の方にとって、今までの人生の中で経験されてきた入浴での楽しみ方には個人差があり、さまざまな考え方や趣向があると言える。そのような中で少しずつ一人一人の好みに合わせて楽しんで頂くことができるなら、今まで以上に入浴というものが憩い（社交）の場になっていくのではないかと。